

# 地域医療の現場から

● 100

中高年の膝の痛みに関して、特に最近「ヒアルロン酸」などサプリメントの広告を頻繁に見かけます。歩き始めや立ち上がりなどに痛みを覚え、正座や階段の上り下りがつらくなっていく、こんな症状に半ばあきらめている人も多いはず。この「変形性膝関節症」の治療も、新しい取り組みが日々進化しながら行われ、一定の効果を上げ



セコメディック病院  
整形外科

鈴木 誠之

て喜ばれてきています。

変形性膝関節症は加齢で膝の軟骨(クッション)が弾力性を失ってすり減り、関節の変形へと進行します。特に肥満体型や、骨折や半月板の損傷など外傷の既往がある方は、変形が進行しやすく注意が必要です。圧倒的に女性に

ヒアルロン酸や炎症止めの注射、太ももの筋力強化を主とするリハビリなどを行います。しかしこのような治療で痛みの改善や生活能力の維持・向上が思わしくない場合、手術を検討することがあり、当院でも適応とされる患者さんには積極

## ヒザの治療で生活をより良く

多いのも特徴の一つです。

外来では、問診や診察、レントゲン検査などを行い、その時点の生活能力などを評価します。治療は痛みやその時点の生活能力によって変わり、初期なら、膝関節内への

的に行っております。主にすり減った関節を人工の関節に置換する「人工膝関節置換術」などが行われます。

手術を検討すると、みなさん「いやだなあ」と心配されます。手術は痛みを取り除き、患者さんの「生活能力をより良いものに、より良い時間を長いものに」

### 医療講演会

#### 「変形性膝関節症」

11月16日(水) 14時/  
八千代市市民会館/講師:  
鈴木誠之医師/無料/要  
予約/TEL 457-9900

するためのものです。有意義な時間を患者さんに提供できることに、我々はやりがいを感じるので。適切な時期に適切な治療、それはときには手術と呼ばれる怖いものです。しかしそれを克服するチームのリーダーが、膝の痛みを実感している患者さん自身であれば、我々は何より心強いと感ずるので。この変形性膝関節症を理解するところから、一緒にはじめましょう。